



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社 上場取引所 東
コード番号 2437 URL <https://www.shinwa-wise.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡崎 奈美子 TEL 03-5537-8024
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 2024年2月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	1,207	△18.2	9	△95.5	19	△91.1	△33	—
2023年5月期第2四半期	1,477	60.3	220	315.3	224	233.4	163	412.3

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 13百万円 (△91.8%) 2023年5月期第2四半期 165百万円 (129.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	△3.29	—
2023年5月期第2四半期	16.54	15.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	4,797	3,595	74.7
2023年5月期	5,054	3,555	70.0

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 3,583百万円 2023年5月期 3,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	7.00	—	—	7.00
2024年5月期（予想）	—	—	—	5.50～7.50	12.50～14.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年5月期第2四半期末の配当原資は、全額資本剰余金であります。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,169	14.3	617	13.5	637	10.6	410	9.7	40.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	10,253,618株	2023年5月期	10,066,518株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	ー株	2023年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	10,112,184株	2023年5月期2Q	9,871,490株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2024年5月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末
1株当たり配当金	7円00銭
配当金総額	71百万円

(注) 純資産減少割合 0.021

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年11月30日)におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、段階的に雇用環境の改善も見られ、個人消費やインバウンド需要の増加など、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、世界的な資源価格高騰やエネルギー価格の高止まり、欧米諸国の金融引き締め効果の本格化、中国経済への懸念など海外経済の下振れがわが国の景気を下押しするリスクもあり、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、インフレ基調により資産防衛策としての実物資産への需要は徐々に高まりつつあるとみられ、不動産や金の市場価格は上昇しているようです。しかしながら、オークション事業については価格の上昇をにらみ良品の出し渋り傾向が見られ、出品誘致を強化し対策を講じておりますが、ジャンルによっては、以前に比べ低調であると言わざるを得ません。オークションのジャンルにおいて、新たな実物資産として注目されるワインを扱うワイン・リカーオークションでは出品希望も多く寄せられております。また、アイアート株式会社が創業15周年を迎えたため、例年11月に開催しておりますオークションを「創業15周年記念オークション」として12月に開催することとなり、当第2四半期では1回減となっております。さらに、同時に進行中の大型プライベートセール案件が当期限内に着地できなかったこともあり、アート関連事業において、取扱高は3,478,677千円(前年同期間比19.9%減)、売上高は1,193,005千円(前年同期間比14.0%減)と減収となりました。中でもオークション事業は、前年同期分と比し、17.8%減の565,209千円となりました。また、Edoverse株式会社におきましてはコンサルティング業務を通じて、Edoverse FoundationがPlay-to-Earn機能を持ったメタバース空間であるEDOVERSEの初期開発を終え、土地NFT上に建つ大名屋敷や江戸城の中を、アバターで3種類のゲームをプレイする準備が整いました。しかし、セキュリティの再確認および強化のために慎重を期し、ローンチ時期を2024年1月と一ヶ月延長し万全を期した体制を構築しております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①アート関連事業

当第2四半期連結累計期間は、取扱高3,478,677千円（前年同期比19.9%減）、売上高1,193,005千円（前年同期比14.0%減）、セグメント利益113,073千円（前年同期比62.1%減）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種別	第35期第2四半期連結累計期間							
	自 2023年6月1日 至 2023年11月30日							
種別	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	653,560	△42.4	134,004	△36.9	3	155	126	81.3
近代陶芸オークション	147,615	△26.3	26,446	△21.6	2	310	270	87.1
近代美術PartⅡオークション	42,280	△66.8	8,477	△70.5	3	266	256	96.2
コンテンポラリーアートオークション	134,090	△74.6	25,861	△73.6	3	74	70	94.6
ワイン・リカーオークション (注)1	400,835	80.6	89,000	84.0	2	1,045	957	91.6
ジュエリー&ウォッチオークション (注)1	543,185	186.5	93,040	165.7	2	383	256	66.8
その他オークション (注)2	57,165	△63.4	11,783	△64.9	2	261	226	86.6
アイアートオークション	811,985	△17.7	176,595	△10.7	2	650	468	72.0
オークション事業合計	2,790,715	△21.2	565,209	△17.8	19	3,144	2,629	83.6
プライベートセール	646,542	△7.6	586,415	△10.7				
その他	41,420	△58.1	41,380	△3.6				
プライベートセール ・その他事業合計	687,962	△13.9	627,796	△10.3				
アート関連事業合計	3,478,677	△19.9	1,193,005	△14.0				

(注) 1. ワイン・リカーオークション及びジュエリー&ウォッチオークションは取扱高の増加により、その他オークションから独立した種別として表示しております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催いたします。

3. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

4. 前年同期は近代美術オークション、コンテンポラリーアートオークションにおいて高額作品が出品・落札されております。

i) オークション事業

当第2四半期連結累計期間は、オークションの開催回数は19回（前年度開催回数20回）でした。内訳は、近代美術オークション、近代美術PartⅡオークション及びコンテンポラリーアートオークションを各3回、近代陶芸オークション、ワインオークション、Bags/Jewellery&Watchesオークションを各2回、西洋美術オークション、MANGAオークションを各1回です。加えて、アイアート株式会社のオークションが2回（前年度開催回数3回）行われました。

近代美術オークションは、出品点数34.6%減、落札点数38.8%減となりました。しかし、エスティメイト下限合

計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で120.4%と高い水準で推移し、平均落札単価は6.3%減でした。

近代陶芸オークションは、出品点数4.6%減、落札点数5.9%減となり、平均落札単価は前年比で22.2%減少となりましたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で120.0%と高水準で推移いたしました。

近代美術PartⅡオークションは、出品点数40.6%減、落札点数38.8%減となりました。平均落札単価は前年比で65.1%減少し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で179.4%と高水準で推移いたしました。

コンテンポラリーアートオークションは出品点数44.4%減、落札点数39.7%減となりました。平均落札単価は前年比で65.1%減少し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で161.5%と高水準で推移いたしました。

ワイン・リカーオークションは、前年と同じく2回開催し、取扱高は400,835千円（前年同期比80.6%増）、売上高は89,000千円（前年同期比84.0%増）となりました。

ジュエリー&ウォッチオークションは、前年と比して回数は1回多く出品点数は36.8%増、落札点数は、6.2%増となりました。またジュエリーでの高額品の出品及び落札があったため、平均落札単価は197.4%増となり、取扱高は543,185千円（前年同期比186.5%増）、売上高は93,040千円（前年同期比165.7%増）となりました。

アートオークションは、前年と比して回数は1回少なく、出品点数650点、落札点数468点という内容となり、取扱高は811,985千円（前年同期比17.7%減）、売上高は176,595千円（前年同期比10.7%減）となりました。

ii) プライベートセール・その他事業

プライベートセール・その他事業では、当第2四半期連結累計期間は、進行中の大型プライベートセール案件が第3四半期以降にずれ込み、売上高627,796千円（前年同期比10.3%減）となりました。第2四半期（2023年9月1日～2023年11月30日）は、資産防衛ダイヤモンド販売事業は売上高が前年比47.6%の減少となりましたが、アート作品の売上高は前年比41.3%増加となりました。

②その他事業

子会社保有の太陽光発電施設による売電事業とマレーシアにおけるPKS事業は事業継続しており、当第2四半期連結累計期間のその他事業のセグメント売上高は14,947千円（前年同期間比83.4%減）、セグメント損失14,011千円（前年同期間は37千円のセグメント利益）となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,207,953千円（前年同期間比18.2%減）、営業利益9,900千円（前年同期間比95.5%減）、経常利益19,900千円（前年同期間比91.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失33,242千円（前年同期間は163,285千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、4,797,926千円となり、前連結会計年度末に比べ、256,806千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未収入金の増加118,596千円及び商品の増加109,870千円、売掛金の増加86,156千円及びその他流動資産の増加53,300千円、現金及び預金の減少612,041千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,202,197千円となり、前連結会計年度末に比べ、297,477千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の増加195,634千円、買掛金の減少229,767千円、未払法人税等の減少141,031千円及びその他流動負債の減少104,713千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,595,728千円となり、前連結会計年度末に比べ、40,671千円増加いたしました。その主な内訳は資本剰余金の増加1,527,363千円及び利益剰余金の増加114,155千円、資本金の減少1,602,353千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末より612,041千円減少（前年同期間は1,047,828千円増加）し、1,661,082千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は611,977千円（前年同期間は1,008,038千円の獲得）となりました。これは主に仕入債務の減少額229,914千円、法人税等の支払額164,461千円、オークション未収入金の増加額118,596千円及び棚卸資産の増加額108,217千円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は46,911千円（前年同期間は13,186千円の獲得）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出22,109千円、無形固定資産の取得による支出22,000千円による資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は51,410千円（前年同期間は33,751千円の獲得）となりました。これは主に株式の発行による収入70,162千円の資金増加及び長期借入金の返済による支出17,534千円の資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・2023年7月14日に発表いたしました連結業績予想について変更はありません。
- ・第33期第4四半期から業務を開始したEdovorse株式会社は、ローンチ時期を2024年1月と一ヶ月延長し万全を期した体制の構築に向けて、コンサルティング業務を積極的に推進しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,123	1,661,082
売掛金	50,729	136,886
オークション未収入金	261,379	379,975
商品	1,242,794	1,352,665
前渡金	3,425	2,480
その他	106,397	159,698
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,937,848	3,692,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,712	7,205
機械装置及び運搬具(純額)	14,260	18,562
土地	12,900	12,900
その他(純額)	25,110	25,115
有形固定資産合計	79,983	63,783
無形固定資産		
のれん	659,793	627,607
ソフトウェア	17,864	13,376
その他	—	22,000
無形固定資産合計	677,657	662,984
投資その他の資産		
関係会社株式	60,600	60,600
投資有価証券	26,973	68,701
繰延税金資産	169,544	164,238
その他	237,821	220,528
貸倒引当金	△135,696	△135,696
投資その他の資産合計	359,243	378,372
固定資産合計	1,116,884	1,105,140
資産合計	5,054,732	4,797,926
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,830	28,062
オークション未払金	467,146	662,780
1年内返済予定の長期借入金	35,308	35,548
未払法人税等	175,331	34,299
賞与引当金	34,795	34,915
その他	239,665	134,951
流動負債合計	1,210,077	930,558
固定負債		
長期借入金	238,121	220,347
退職給付に係る負債	33,239	33,154
その他	18,237	18,137
固定負債合計	289,597	271,639
負債合計	1,499,675	1,202,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,674,567	72,213
資本剰余金	1,395,772	2,923,136
利益剰余金	453,260	567,415
株主資本合計	3,523,600	3,562,766
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,744	21,315
その他有価証券評価差額金	6	△812
その他の包括利益累計額合計	16,751	20,502
新株予約権	14,704	12,459
純資産合計	3,555,057	3,595,728
負債純資産合計	5,054,732	4,797,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,477,482	1,207,953
売上原価	656,332	551,891
売上総利益	821,149	656,061
販売費及び一般管理費	600,992	646,161
営業利益	220,157	9,900
営業外収益		
受取利息	314	576
為替差益	6,005	3,668
デリバティブ評価益	977	772
暗号資産評価益	—	4,990
その他	2,126	2,807
営業外収益合計	9,423	12,814
営業外費用		
支払利息	2,026	2,438
暗号資産評価損	2,250	—
その他	584	377
営業外費用合計	4,861	2,815
経常利益	224,719	19,900
特別利益		
賞与引当金戻入額	9,870	—
役員賞与引当金戻入額	1,000	—
投資有価証券売却益	37,574	—
特別利益合計	48,444	—
特別損失		
本社移転費用	—	15,877
訴訟関連損失	5,646	—
特別損失合計	5,646	15,877
税金等調整前四半期純利益	267,517	4,023
法人税、住民税及び事業税	79,129	31,596
法人税等調整額	25,102	5,668
法人税等合計	104,232	37,265
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,285	△33,242
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	163,285	△33,242

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,285	△33,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,937	△819
為替換算調整勘定	5,600	47,663
その他の包括利益合計	2,663	46,843
四半期包括利益	165,948	13,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,948	13,601

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	267,517	4,023
減価償却費	21,831	7,838
のれん償却額	32,185	32,185
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,261	120
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,343	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,300	△84
受取利息及び受取配当金	△314	△576
支払利息	2,026	2,438
売上債権の増減額 (△は増加)	91,086	△86,156
オークション未収入金の増減額 (△は増加)	△499,517	△118,596
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,246	26,625
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△258,426	△108,217
前渡金の増減額 (△は増加)	9,988	945
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,655	△229,914
オークション未払金の増減額 (△は減少)	1,224,016	195,634
前受金の増減額 (△は減少)	20,024	△38,851
デリバティブ評価損益 (△は益)	△977	△772
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37,574	—
本社移転費用	—	15,877
訴訟関連損失	5,646	—
その他	332,441	△149,553
小計	1,183,057	△447,035
利息及び配当金の受取額	314	576
利息の支払額	△2,026	△2,171
法人税等の支払額	△149,677	△164,461
法人税等の還付額	31,941	1,115
訴訟関連損失の支払額	△55,572	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,008,038	△611,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,781	△2,802
無形固定資産の取得による支出	—	△22,000
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△22,109
投資有価証券の売却による収入	37,575	—
その他	△20,606	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,186	△46,911

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,614	△17,534
社債の償還による支出	△5,000	—
株式の発行による収入	155,625	70,162
セール・アンド・リースバックによる支出	△1,259	△1,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,751	51,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,148	△4,562
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,047,828	△612,041
現金及び現金同等物の期首残高	1,185,586	2,273,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,233,414	1,661,082

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年8月28日開催の当社第34回定時株主総会において、資本金の額の減少と剰余金の処分を行うことを決議され、2023年10月1日に当該決議の効力が発生しました。

この結果、資本金は1,638,557千円減少し、その他資本剰余金が1,491,160千円、繰越利益剰余金が147,397千円増加しましたが、株主資本の合計金額には変動はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,387,387	90,095	1,477,482	—	1,477,482
セグメント利益	298,020	37	298,058	△77,900	220,157

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,900千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,193,005	14,947	1,207,953	—	1,207,953
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	113,073	△14,011	99,062	△89,161	9,900

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,161千円あります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。